



留学生と語り合う No. 79

RKK ニュース (2020年春号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

新年度を迎えるに当たって For the New Fiscal Year

NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明
Tomoaki Fukami, Chairman of RKK (NPO)



留学生の要望の変化と対応

Response to changes of student's needs

昨年はRKK創立20周年を祝い、多くの方々と交流を深めることができ、さらに留学生、会員そして大学や神奈川県の方々のご寄稿による記念誌を発行し、記憶と記録に残る2019年でした。

この20年間、活動内容にも多くの変化がありました。最近では、日本語支援で論文の添削、就活面の支援等、文化交流では個人的なパートナーシップ、見学先は工場のみならず社会施設や歴史文化物等にも広がっています。また、1:1個別支援を円滑に、前向きに進めるためには、余裕のある支援力を備えることが求められてきました。

今後、留学生は日本をさらに広く知ることを期待し、大学卒業後も日本に止まる傾向も増えると予想されます。留学生と有意義な楽しい交流を続けるために、必要に応じて支援方法の変更や要望に応じたレベルアップが求められるかもしれません。そして、時には、従来の支援のあり方にとられない支援、交流もあろうかと思えます。創立20周年記念で語った“未来に向かって、新たな一歩”を踏み出そうではありませんか。

それにしても、新型コロナウイルス感染症のますますの広がりで、活動のままならない状況が続きますが、早期の収束を祈念します。お互いに十分、注意をはらいたいと思います。

For celebrating RKK's 20th anniversary last year, we deepened exchanges with many people and published a memorial magazine contributed by international students, RKK members, and those involved in the university and the administration. 2019 was a year which remained in our memory and on record too.

Our activities have changed for these 20 years. Lately, in supporting students for learning Japanese, we have corrected their thesis and supported activities for job hunting. We also have promoted personal partnerships between students and RKK members as cultural exchanges, and visited not only factories but public facilities and historical and cultural properties as field trips. Meanwhile, as for the issues associated with one-to-one personal support, enhancement of support power has been needed.

In the future, it is expected that more students will grow interested in Japan and would like to remain in Japan after graduating from university. In those situations, we may need to change and improve our support method as required. Let's take a new step for the future, which we declared for our 20th anniversary.

Due to further spread of infection of new coronavirus recently, our activities have been restrained. I hope that the situation calms down soon, and all we need to pay careful attention for that.

(Translated by Azusa Sugita)

ホームページをお訪ねください



NPO 法人
RKK 留学生と語り合う会

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

HOME

RKK 紹介

イベント

広報紙

入会案内

留学生支援

For Students

ホームページは随時更新しており、新しく留学生支援情報を追加しました。併せて「会員のひろば」を通じて、留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味の情報交換にもご利用下さい。掲載希望の会員はメッセージを RKK 広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/> または、**NPO RKK** で検索

ホームページへのアクセスには、右コードをスキャンして下さい。

広報委員会では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

広報委員会



就職活動情報

留学生の就職活動について

就活情報支援委員会 岸野 任宏



1. はじめに

過去にキャリアカウンセラーとして二、三の大学で学生の就職活動をサポートしたことがあります。

現在の状況とはかなり変化しているが、大切なことは、あまり変わってないようなので、留学生およびそのサポート役のRKK会員(チューター)に少しでも参考になると思われることを記載してみます。

2. 就活を始める前に

留学生が日本企業に就職を希望する場合、克服すべき課題は多い。さらに採用する側の受け入れ体制が不十分であるのが現状のようだ。(2019年12月、(株)ディスコ社「外国人留学生の採用に関する調査」)

そこで、就職活動を始める前に極めて基本的な事項を整理しておいてほしい。

- ・留学先に何故日本を選び、何を勉強したかったのか
- ・何のために就職するのか
- ・どのような活動をしたいのか
- ・将来どのような人間になりたいのか

簡単に答えられる課題ではないが、これらの問題に対して整理し、説得力のある説明ができるようにしておけば、多くの乗り越えるべき壁のある就職活動を完遂する上で重要でしょう。

3. 就職志望先の選択

一般的な就職活動の準備事項、例えば企業研究、インターンシップ、エントリーシート等については自ら学ぶしかありません。

可能性のある就職志望先を選択するに当たっては以下

のことが大切でしょう。

A:自分がやりたいこと B:自分ができること C:就職希望先が自分に望んでいる(と思われる)こと

このA、B、Cが重なり合うところを選択するのが内定を取得出来る可能性が高くなるように思います。

留学生にとっては就職先で働くことにより、単に給料だけでなく何を得られるか、どのように自分を成長させてくれるかを注目すると良いでしょう。

ABCそれぞれについて慎重に、そして深くまとめておきましょう。

そしてRKK会員のチューターがお手伝いすることはエントリーシートの日本語指導、面接時の日本的なマナー指導等も重要ですが、このABC事項を留学生がまとめる上でのサポートが大切であると思われます。

4. 結び

採用する企業側が就職希望学生に対して期待することは、一般的に「行動力」「知力」「志と心」でしょう。

さらに留学生には日本語能力は勿論「真のコミュニケーション能力」と「異文化理解能力」についてはより強いものを期待していると思われます。

就職活動を人生の一つの重要なステップとして位置づけて取り組んでほしい。

そして就活に真剣に取り組むことによって、今後の人生に必ずや役に立つことを確信しています。サポート役のRKK会員チューターは留学生の意向を大切にしたいお手伝いをお願いしたい。

最後に、RKK就職情報支援委員会を活用することをお願いします。

留学生の皆さんへ For International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・日常会話(Daily Conversation)
- ・ビジネス会話(Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導(Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞/書籍等の読解(Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験(Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動(Job Hunting・Entry sheets/Interviews)



Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田(Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>



中国語学習の楽しみ

中国語学習グループ 福里 浩久



大家好。ダー ジャー ハオ。皆様こんにちは!

昨年 10 月に留学生と語る会(RKK)に加入した福里浩久です。

日本語の漢字は、中国語では漢字(hanzi)と呼ばれるようです。

私の驚きは、同じ漢字でも日本と中国では全く意味が違っていることでした。

例えば、日本で「行く」は中国では「去」、日本で「走る」は中国で「歩」。以下思いつくままに挙げると、自動車→自動車。愛人→配偶者(これは日本と中国では真逆ですね)。

聞一において。机→機械。勉強→無理矢理(なんとなくわかります)。あと「食べる」を中国語では「吃」。これは日本で

は「どもる」です。全て日中で違うというわけではないのですが、要注意の単語が結構あるのだと思います。まだまだこれから出てくると思いますが、それもまた中国語学習の楽しみでもあります。

老師は、中国東北地方の出身で、毎回授業の後は食事をするのですが、中華街の老師の出身地のお店で、中国料理を堪能できたのは格別でした。いろいろな種類の餃子を食べ比べてきました。

中国語を共に学ぶ先輩方も、ベテランの方が多く、学ぶ雰囲気はとてもアットホームで居心地が良いです。今はウイルスの影響で休講状態ですが、早く再開されることを願っています。



日本語支援グループ

私の日本語支援

中央地区 高島 千恵子



早いものでこの活動を始めてから18年の年月が経ちました この間おそらく8割の方は中国からの留学生だったと思います 彼らは母国で日本語を学び 来日して来ますそして 各自のニーズ、例えば YNU の研究科、修士の入学を目指したり、N1に合格したいとか、具体的な目標を持っています。

そんな中でこれはちょっと難しいなあと感じるのは「日本人の様に話したい」というリクエストです もちろんそういうリクエストをする留学生はかなり上級の日本語能力を有しヒアリングも問題ないレベルなのですが発音に関しては残念な事に「外国人がしゃべる日本語」になってしまいます。

ですがそれはある意味 仕方がない事ですから 私はまず発音はあまり気にしないで色々な日本人の話を聞いて

たり、話す機会を持てば日本語もいろいろあり、そしてその言葉の背景が理解できるようになればその場にふさわしい的確な日本語がポンと出て来て会話がスムーズになり自然と日本語が「板につく」はずとアドバイスしてます。

そんな彼らとは「常識として知っておきたい日本語」を参考に一緒に勉強しています。日本人の私でも知らないことばかり。留学生と子ども「へー」って感じて楽しくすすめています。また、生け花、お茶、などのイベントがある時は誘って見学してます。

まさに、百聞は一見にしかず。

私との出会いが日本語上達の一助になれば嬉しいなあという気持ちで支援を続けています



マッチング情報

- ・2011年度から、2019年度までの日本語指導状況の推移
- ・人数等は、すべて延べで数えた数

STUDENT数・支援会員数・マッチング数の推移

年度	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
STUDENT数	74	98	135	141	178	197	203	189	174
支援会員数	50	53	66	78	86	83	86	81	76
マッチング数	50	63	75	60	105	96	86	69	70

平均支援人数の推移

年度	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
平均支援人数	1.48	1.85	2.05	1.81	2.07	2.12	2.36	2.33	2.29

・STUDENT数・支援会員数は、やや減りましたが、平均支援人数は高い値が続いています。

フェリス女学院大学との交流



～ 日本語個人学習支援から広がる国際交流 ～

フェリス女学院大学では学生を中心に留学生支援を行います。キャンパス生活を支援するメンター、学習支援をするチューター、寮の共同生活を支援するレジデント・アシスタント、留学生と日本人学生が相互理解と交流を深めるイベントを企画立案する「留学生会」などの活動がありますが、同世代の学生間交流に限られます。そこで、留学生にはより多くの日本人、幅広い年代の方と触れ合う機会を提供するためRKKの様々なプログラムを紹介しています。

これまでに多くの留学生がRKKの活動(横浜開港150周年記念の歴史を見るバスツアー&感想発表会、横浜港国際クルーズ、日本語スピーチコンテスト、湘南ひらつか七塔まつり、こども自然公園で桜を楽しもう!等)に参加

フェリス女学院大学 国際課 鈴木和枝
し、貴会員との交流を深めていきました。ホームビジット・ホームステイでは留学生を家族の一員のように受入くださり、また日本語個人学習支援では温かく留学生を見守りご指導くださった方々に心より感謝申し上げます。留学生から「日本の会社に就職が決まったのでお礼のメールを送りたい」「個人指導を受けたチューターのお宅にもご挨拶に行きます」などの報告を受けるたびに、貴会員と留学生の間に深い絆が生まれていることを実感し嬉しく思います。

留学生の日本留学がより有意義な学びとなるよう、人生経験豊かな会員の皆様にお力添えいただければ幸いです。2020年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



～ フェリス女学院大学とRKKとの活動 ～

文化・ファミリー交流 徳屋 英生

いったい何年になるのでしょうか?
何人の留学生とお付き合いしたのであるか?
何人のRKK会員がお付き合いしたのであるか?
今となっては定かでないがことほど左様に同学とRKKとのお付き合いは長く多岐にわたっている。

日本語学習、七夕祭り、お花見、家庭訪問、留学生生活発表会など日常生活と各種イベントと様々である。

RKK 会員留学生の出身国別比率は、日本への留学生全体の比率とほぼ同じ傾向を示していて中国、ベトナム、インドネシア等アジア地域からの留学生が多く約80%を占めている。一方フェリス女学院大学の留学生はアジアのみならず世界各地から来日しておりバラエティに富んでいる。これら世界各国からの留学

生との交流を通じて彼女たちの見方、考え方を知り、新たな発見をすることも多いのである。

七夕祭りには留学生全員が浴衣を着て参加し、七夕会に華を添えてくれている。

お花見では彼女たち手作りのお国料理が楽しみなものである。

留学生生活発表会は彼女たちの経験、感じたことなどを日本語で発表するもので時に笑いあり、また涙ありの示唆に富むスピーチである。

横浜にある同学留学生との交流を通じて世界に目を向け、世界を知る機会が今後とも継続し、さらに拡大していくことを心より願うものである。



フェリス女学院大学との交流

～ 交換留学と RKK ～

フェリス女学院大学 蒙 采考(台湾)



2019年4月の頃に日本へ留学に行きました。たった一年間の交換留学なので、時間を無駄に過ぎないように充実した留学生活を送りたいです。その

わけで、私はこの一年間に学校の授業以外にいろいろな体験したことないことを積極的に体験しました。例えば、5月の小田原北条五代祭り、夏末の火花大会、茶道体験、鎌倉に遠足、名古屋に旅行など、様々なことを体験できたのは、自分と同行の仲間が積極的に情報を収集して参加しただけではなく、フェリス女学院大学も留学生のためにたくさんのイベントを開催しますから。特にフェリスの留学生は毎年の九月の時にフェリスの一般生と一緒に広島に行っ

て、二泊三日のジャパンニーズツアーに残った記憶はとても深かったです。一般の学生ともしっかりと仲良くできて、平和についてもよく勉強になりました。そして、国際課も留学生向けの情報を教えます。そのおかげで、私は留学生と語り合う会に出会いました。最初のきっかけは平塚の七夕祭りです。RKKのメンバーたちは私たちを連れて平塚の七夕祭りを見に行ったり、神社に参拝に行ったり、短冊を飾ったり、日本の伝統的な歌を歌ったりしました。とても楽しかったです。さらに、私の卒業論文もRKKからの協力者のおかげで無事に完成しました。フェリス女学院大学とRKKのおかげで、私が日本で生活は楽しく過ごせながら日本語能力もよりよくなりました。



～ 私の留学体験 ～

フェリス女学院大学 シューリヒト・アンジェラ(ドイツ)



ドイツから来ましたシューリヒト・アンジェラです。2019年の3月から日本に留学をしました。そろそろ一年間が終わって、帰国しますので、ここに私の留学経験について書きたいと思いま

す。日本に来る前に、この不思議の国はどうだろうかなと思いました。私は2012年はデュッセルドルフ大学で日本の社会や文化について勉強を始めて、日本に非常に興味を持ちました。ついに日本に行く機会ができて、本物の日本を楽しみにしました。

この留学を通して様々な体験がありました。本物の振袖を着る経験からはじまり、生け花に挑戦したり、夏には流しそうめんをしたり、あるときは剣道を体験したりしました。そして広島を訪れた際には、被爆者の方とお話をさせて

いただく機会もあり、それは私にとって、忘れることができない思い出となりました。国際的な友達と一緒に長い時間富士山を見、星を眺めて、一緒に御朱印を集めに神社やお寺に行きました。一緒に火花を見たりお風呂でいつも長話をしたり、本当に楽しかった。

この一年間に初めて日本の祭りに行きました。RKKのみなさんと綺麗な浴衣を着て、平塚の有名な七夕祭りに行きました。その体験は私にとって本当に特別な思い出となりました。私は最初から、日本の浴衣が好きで、RKKのみなさんのおかげで着れるようになりました。

これからドイツに帰国しても、この七夕祭りで一緒に歌った曲を聞くと、絶対にこの素晴らしい日を思い出します。また会える日を楽しみにしています。



しんがたcoronavirusかんせんかくだいぼうし hotel たいさく
 ～ 新型コロナウイルス感染拡大防止にホテルの対策 ～



Ferri s
 2017年から2018年までフェリス
 女学院大学で留学しました、デア
 ー キンタンプスパニールームと申し
 ます。留学を終えて2018年に帰国
 をし、大学を卒業してから、2019

年の春から箱根にあるホテルで勤めています。箱根で
 働いているから11ヶ月経ちました。春休みが始まって忙
 しい日々を期待していましたが、新型コロナウイルスが
 流行ってから客数が落ちている状況が続いています。
 忙しい時期は通常満室ですが、実際客室が半分も空い
 ています。客数が少ないのですが、お客様が快適に通
 ごせようにホテルなりにが努力しています。

元留学生 ディアー キンタンプスパニールーム

新型コロナウイルス感染拡大防止のためにホテルの
 対策としては、ホテルのスタッフ全員はマスクの着用
 (レストランのスタッフは手袋も)、ホテルの玄関やレストラ
 ン入り口などでアルコール/消毒薬の設置、お客様
 チェックアウトされた後に部屋の鍵や受付の消毒、
 パブリックスペースや全客室にも毎日消毒を行う、
 ビュッフェレストランの座席に間をおく、使い終わった席
 やテーブルをアルコールで消毒、トングを定期的に交換
 するなど。そういった対策を行っています。

新型コロナウイルスのため外出を控えている方は沢
 山いますが、落ち着いたら箱根に沢山の観光客が来て
 くれると嬉しいです。

りゅうがくせいがくはつびょうかい さんか
 留 学 生 活 発 表 会 に 参 加

Ferri s j i y o u g a k u e i n d a i g a k u h o p p i y o u g a k u e i
 フェリス女学院大学で発表会がされました。

たいわん かんこく ちゆうごく i n d o n e s i a Germany じん がくせい
 台湾、韓国、中国、インドネシア、ドイツからの12人の留学生で
 彼女たちは 留学の楽しさ、学んだことなどを各人それぞれの視点で立て日
 本語で熱く語っていました。私たちが日ごろ見落としている事柄など
 新たに発見することも多々ありました。

徳屋 記

トピックス

神奈川県日本中国友好協会「交歓のつどい」に参加

神奈川県日中友好協会の2月開催の交歓のつどいの案
 内を受け岩瀬さんと共に参加し、多くの方々と交歓がで
 きました。RKKは非常に多くの中国留学生への支援を進め
 ています。そのために日中友好協会の活動を理解すると
 共にRKKの活動を知っていただくことが望ましいと思いま
 した。

交歓のつどいは、・高校生(5人)の中国訪問報告、・同
 協会名譽顧問の講演(中国との交流の歴史等)があり、日
 中友好の現状に接しました。また、盛大な懇親会では、神

奈川県担当部局はじめ、多くの関連団体の参加があり、そ
 の中でRKKも挨拶をさせていただきました。RKKが創立
 20周年を経て、現役の留学生の支援のみならず、留学中
 に支援した現社会人との交流も
 増えていることを紹介しました。
 また、神奈川県日中友好協会の
 機関誌「日中友好の輪」にもR
 KKの詳細な活動を紹介させてい
 いただきました。(深水)





南地区

南地区 原田勝史

南地区は、布津副理事長、創立当初からのベテラン会員、そして新しく加わった会員など多様な17名で構成されています。地区では年間スケジュールを決め年3回交流会を開催し、RKKの情報伝達、留学生情報の交換など会員の親睦交流に務めています。

1月の交流会は、中川区民活動センター研修室で開催しました。参加された深水理事長より「昨年はなんと言っても創立20周年記念行事が皆様の協力のもと滞りなく出来たことが感慨深い、今年も力を合わせてRKKを盛り上げよう」との話があり、布津副理事長からRKK会員の現況報

告およびチューターの人員不足問題の報告がありました。引き続いて参加会員から担当している留学生の現況、問題点、悩みなどが報告され、助言・意見などの交換をしました。

その後、会場を中華街の菜香に移し、恒例となった昼食を兼ねた新年懇親会を開催しました。軽く一杯入ったこともあり、話題は留学生の現況から日中韓の国際問題に発展し活発な意見交換を行ない一層の親睦を深めました。次回は5月開催の予定です。



中央地区

中央地区 群取 孝

中央地区では、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響により3月15日に開催する予定でした第4回目の交流会を中止することとしました。そのため、地区のたよりは、中央地区を振り返ることにしました。

メンバーは、今年度新しく4人の方が加わるなどして、全体で19人となっています。活動としては、次のことが挙げられます。

交流会を年3～4回開催し、内1回は留学生を招いて食事会をし、交流を深めています。日本語支援をされている方は8人で、20人の留学生を支援しています。国籍は、中国、ミャンマー、ベトナムです。

RKK フェスティバルの文化交流会では、岩科さんが他地区の方々と協力して、卓上でできる簡単なお手前に参加者に抹茶と和菓子をふるまいました。また、中国の大学で茶道の手ほどきを受けた留学生 支 彤 彤 さんが加わり、実際にお手前を披露していただいたので、例年になく楽し

いお茶席となりました。当日、着物の着付けを希望する留学生には、松本さんが持参した着物を着付けし、文化祭を楽しんでもらっています。日本の文化を体験できるので、留学生には好評です。

さらに、昨年より村田さんが留学生支援として、留学生向けの安全対策(防犯・交通事故対策他)、文章作成の支援(奨学金申請の書き方他)など多数の支援情報をホームページに掲載しています。この内容は、日本語支援をされているみなさんにも大いに役立つ内容になっています。

今後の交流会としては、他地区との合同交流会を模索していきたく考えています。

交流を楽しみながら、勉強会、地区の課題などのお話しができれば、会員同士のつながりが深まると思っています。



賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

周 亜萍、小久保佐恵子、杉田あずさ、佐々木紀長、山田実（敬称略）

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

藤樫大二郎（川崎市）、平沼隆志（保土ヶ谷区）（敬称略）



～前理事長の太田さん転居による歓迎会～

今年は暖冬で桜の開花も早かったのですが猛威をふるう新型コロナウイルスの影響で、いつも心が浮き立つような気分には水をさされてしまいました。東地区では交流会を今年度より年4回としたのですが、残念ながら今年3月に予定していた第4回目の交流会は中止せざるを得ませんでした。その為昨年末に行われた第3回目の交流会の様子をご紹介します。

いつも交流会は武蔵小杉駅近くの川崎市民活動センターで行われ、10名前後の方が参加されます。話題は各自の留学生支援の状況についての情報交換が主なものです。また今回は前理事長の大田さんが都築区に転居され東地区所屬となったため新たに参加されまし

東地区 鈴木 隆

た。強力なメンバーの加入でますます交流会が盛んになる様に皆さんと盛り上げていきたいと思えます。最近では交流会のあと必ず懇親会を開いており、当日は年末の忘年会と大田さんの歓迎会を兼ねる事にしました。さらに懇親会にインドネシアからの留学生のディアさんが参加してくれましたが、偶然にもその日がディアさんの誕生日だった為ディアさんの誕生日祝いも兼ねる事にして、皆さんと楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

写真は誕生日祝いのケーキとディアさん、チューターの西村さんの笑顔です。



おもな活動 (2020/2 から 2020/4 まで)

特記

◇新型コロナウイルス感染防止のために、活動が制限された各種イベントの中止、会議の中止・延期が発生した。サポートセンターのボランティアサロンの閉鎖などにより、留学生との交流も、限定された条件においての実施を余儀なくされた。

スタッフミーティング

◇3/22に予定されていたが、スタッフが一同に会するミーティングは中止し、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからのC&C(報告・連絡そして相談)をメールまたは書面で報告メモとして収集し、2019年度第4回スタッフミーティング報告メモ集(全11ページ)を作成、配信した。

活動グループ

- ◇日本語支援 G: 3月開催予定の全3回日本語の教え方ブラッシュアップ講習会は中止。
- ◇文化・ファミリー交流 G: 3/29を予定したお花見会は中止。
- ◇中国語学習 G: 第4回コースは2月、3月を休講。
- ◇社会・工場見学 G: 3/18に予定していた日本科学未来館、防災体験学習施設見学会は中止。

地区交流会

- ◇東地区: 3/15に予定した交流会・懇親会は中止。会員、支援留学生数は増加傾向。
- ◇西地区: 1/26に16人の参加で交流会を実施。1/21のフェリス女子学院の留学生発表会に参加。
- ◇南地区: 1/12に中華街のレストランで新年会を実施。
- ◇北地区: 1/18に9人が参加し、鶴ヶ峰の「みなくる」で交流会を実施。
- ◇中央地区: 3/15に予定した交流会は中止。
- ◇湘南地区: 2月に予定した交流会は中止。藤沢市民活動推進センターは閉館。

委員会

- ◇会員委員会: 3/22予定のマッチング検討会を中止し、メールで情報収集。会員名簿管理。
- ◇広報委員会: RKK ニュース 79号の編集。イベント中止にともない編集を工面。
- ◇就活情報支援委員会: 2/15の委員会にて、就活支援情報メールの定期発信と就活サロンの運営を再検討。
- ◇企画委員会: 夢ファンド推進。会議室予約管理。
- ◇会計委員会: 月次精算・決算作業。講習会受講料振込管理。年会費納入管理。
- ◇事務室: 総会・理事会・スタッフミーティング開催準備。事業計画作成支援。会員委員会サポート。

NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦
Eメール: rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327
ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集: RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 28, 2020

無断転載をお断りします。

